

【前期訓練】

ア 災害対策本部運営訓練

- ・災害発生直後を想定した情報収集や関係機関との連携
- ・災害救助法の適用及び札幌市との役割分担に関する調整やテレビ会議の実施



イ 実動訓練

住民参加の避難所訓練

地域住民が避難所生活を模倣的に体験。各関係機関による避難所への支援を実施。

- ・臨時災害放送局の開設：緑丘小
- ・自衛隊による入浴支援：緑丘小
- ・宿泊準備の様子：緑丘小



- ・自衛隊による炊き出し支援：栄緑小

- ・日本郵便(株)による配達訓練：栄緑小

- ・関係機関車両展示：栄緑小



自治体職員による実践的な避難所運営ゲームの実施(開設・運営のための実践型一泊訓練：北郷小)

- ・監修：北海道看護大学 根本昌宏 教授
- ・付与状況に置けるグループ討議、発表
- ・宿泊スペースの設置



北の災害食レシピコンテスト：緑丘小



防災教育(北郷小) 全校集会、防災講話



- ・札幌管区気象台による講話

防災教育(北郷小学校) 小学校における一日防災学校(防災かるた、新聞紙スリッパの作成 など)

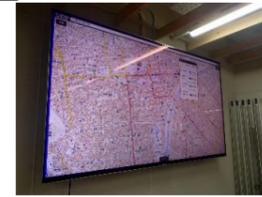
- ・国語【防災かるた】
- ・図工【新聞紙スリッパの作成】
- ・家庭科【非常食づくり、試食】



【後期訓練】

ア 災害対策本部運営訓練

- ・支援物資の受入や輸送などの調整・確保
- ・救出救助部隊やヘリの運用調整
- ・防災共通地図の活用 など



- ・北海道開発局TEC-FORCEからの報告書手交



イ 実動訓練

物資輸送訓練

- ・海上保安部船舶による輸送【苫小牧西港】・海上自衛隊船舶による輸送【苫小牧西港】・苫小牧埠頭倉庫物資搬出



- ・物資集積拠点【千歳市】



- ・ヘリコプターによる輸送【苫小牧消防】



- ・避難所住民の物資受入【恵庭市】



救出・救助訓練

- ・救出救助現場【真駒内駐屯地】



- ・真駒内SCU開設【真駒内駐屯地】



- ・救出救助活動中【真駒内駐屯地】



- ・傷病者搬送【自衛隊病院】



- ・医療救護活動(DMAT)



- ・丘珠SCU開設【丘珠駐屯地】



- ・豊平川への架橋【陸上自衛隊】



- ・ヘリコプター救助訓練



- ・ドローンによる情報収集



◎北海道防災総合訓練 参加機関

北海道、札幌市

北海道総合通信局、北海道財務局、北海道厚生局、北海道農政事務所、北海道森林管理局、北海道経済産業局、北海道産業保安監督部、北海道開発局、北海道運輸局、北海道地方測量部、札幌管区気象台、第一管区海上保安本部、北海道防衛局、陸上自衛隊北部方面隊、北海道教育庁、北海道警察、日本銀行札幌支店、日本赤十字北海道支部、日本放送協会札幌放送局、東日本高速道路(株)北海道支社、東日本電信電話(株)北海道事業部、日本郵便(株)北海道支社、日本通運(株)札幌支店、北海道電力(株)、KDDI(株)北海道総支社、(株)NTTドコモ北海道支社、ソフトバンク(株)、北海道瓦斯(株)、(一社)北海道LPガス協会、(公社)北海道看護協会、(公社)北海道トラック協会、(一社)北海道警備業協会、(一社)北海道建設業協会

海上自衛隊大湊地方隊、航空自衛隊第2航空団司令部、自衛隊札幌病院

釧路市、帯広市、北見市、岩見沢市、留萌市、苫小牧市、江別市、赤平市、千歳市、砂川市、登別市、恵庭市、北広島市、石狩市、北斗市、当別町、新篠津村、松前町、七飯町、鹿部町、黒松内町、蘭越町、倶知安町、岩内町、仁木町、奈井江町、長沼町、新十津川町、北竜町、東神楽町、当麻町、上富良野町、中富良野町、美幌町、置戸町、厚真町、新ひだか町、音更町、芽室町、幕別町、池田町、標茶町、弟子屈町、中標津町
札幌市消防局(中央消防署、東消防署、白石消防署、南消防署、西消防署)、江別市消防本部、千歳市消防本部、恵庭市消防本部、北広島市消防本部、石狩北部地区消防事務組合消防本部、小樽市消防本部、岩内・寿都地方消防組合消防本部、羊蹄山ろく消防組合消防本部、北後志消防組合消防本部、夕張市消防本部、美幌市消防本部、歌志内市消防本部、三笠市消防本部、岩見沢地区消防事務組合消防本部、砂川地区広域消防組合消防本部、滝川地区広域消防事務組合消防本部、深川地区消防組合消防本部、南空知消防組合消防本部、苫小牧市消防本部、札幌市中央消防団円山分団、札幌市西消防団

札幌市立北郷小学校、札幌市立緑丘小学校、札幌市立栄緑小学校、札幌市立栄緑小学校PTA、札幌市立寒東小学校

南円山連合町内会、和興町内会、有楽町町内会、誉共和町内会、栄新和町内会、大栄町内会、百合が原町内会、太平西部第一町内会、太平西部町内会、西区連合町内会

札幌医科大学附属病院、市立函館病院、北海道立江差病院、市立札幌病院、北海道大学病院、手稲溪仁会病院、(独)国立病院機構北海道医療センター、小樽市立病院、JA北海道厚生連倶知安厚生病院、砂川市立病院、日鋼記念病院、市立室蘭総合病院、(医)製鉄記念室蘭病院、総合病院伊達赤十字病院、王子総合病院、苫小牧市立病院、旭川赤十字病院、旭川医科大学病院、名寄市立総合病院、留萌市立病院、市立稚内病院、北見赤十字病院、JA北海道厚生連網走厚生病院、JA北海道厚生連帯広厚生病院、市立釧路総合病院

(大)北海道教育大学札幌校、(学)日本赤十字学園 日本赤十字北海道看護学校、(公社)北海道柔道整復師会、(公社)隊友会、(公社)全国賃貸住宅経営者協会連合会、(公財)札幌市防災協会、(公財)札幌国際プラザ、(公財)北海道給食協会、(一財)日本気象協会、(一財)移動無線センター北海道センター、(一社)日本コミュニティ放送協会北海道協議会
【FMアッブル、e-niwa、FMびゅー、三角山放送局、FMWING、FM-JAGA、ラジオニセコ、FMいるか、FMねむる】、(一社)北海道医療機器販売業協会、(一社)日本産業医療ガス協会、(一社)北海道レンタカー協会、(一社)北海道ハイヤー協会、(一社)札幌市医師会、(一社)札幌市薬剤師会、(一社)札幌市友会、(一社)札幌地区トラック協会、(一社)札幌建設業協会、(一社)日本自動車連盟札幌支部、(福)白石区社会福祉協議会、(福)西区社会福祉協議会、(福)さっぽろ慈啓会、(福)特別養護老人ホームさくら苑、特別養護老人ホームはっさむはる、北海道ボランティアセンター、(特非)恵庭市体育協会、(特非)ピースマイル、苫小牧港管理組合、苫小牧地区倉庫協会、札幌倉庫協会、ホクレン農業協同組合連合会、札幌市管工事協同組合、札幌生コンクリート協同組合、北海道自動車処理協同組合、北海道災害リハビリテーション推進協議会、日本赤十字社北海道ブロック血液センター、日本赤十字社札幌地区本部、札幌市設計同友会、西区災害防止協力会、札幌地域災害復興支援士業連絡会、北海道ドローン協会

(株)あいプラン、DCMホームマック(株)、(株)ムトウ、つばめ自動車(株)、明星自動車(株)、サッポロビール(株)、岩谷(株)、日糧製パン(株)、北海道コカ・コーラボトリング(株)、イオン北海道(株)、(株)セコマ、(株)ファミリーマート、(株)セブン-イレブン・ジャパン、ローソン(株)、(株)コメリ、合同容器(株)、(株)大和パッケージ、ヤマヤ物産(有)、三新(株)、片桐機械(株)、Jパック(株)、(株)切田製作所北海道支店、北海道エア・ウォーター(株)、(株)北海道銀行、(株)北洋銀行、日本電気(株)北海道支社、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)ネクステック、(株)ムラカミ、苫小牧埠頭(株)、佐川急便(株)、ヤマト運輸(株)、日本郵便輸送(株)、札幌通運(株)、札幌通運(株)苫小牧支店、福山通運(株)苫小牧支店、(株)日立国際電気、江崎グリコ(株)、伊藤組土建(株)、日本航空(株)、(株)札幌民間救急サービス

平成29年度 北海道防災総合訓練

○ 目的
北海道のほか、道内の防災関係機関や市町村などが連携し、札幌直下型地震を想定した実践的な訓練を札幌市と共同で実施することにより、支援物資の輸送や避難所対策といった応援・受援の体制など都市型災害への対応力の向上を図るとともに、本道全体の防災力の強化を図る。

○ 訓練想定
札幌市を震源とする、最大震度7を記録する大規模地震の想定

○ 訓練日等
(1) 前期訓練
ア 災害対策本部運営訓練
日時 平成29年8月29日(火)
場所 道庁危機管理センター、札幌市役所
内容
災害対策(地方)本部の指揮室において、訓練想定に基づき付与される災害状況に対し、防災関係機関等と連携・調整を図りながら災害応急対策を実施するとともに、災害救助法の適用や札幌市への事務の委任など札幌市との連携を確認。

イ 実動訓練
日時 平成29年9月1日(金)～2日(土)
場所 札幌市(緑丘小学校、寒東小学校、北郷小学校、栄緑小学校 など)
内容
・避難所運営訓練
・防災教育
住民避難や自治体職員による避難所開設・運営の実践、関係機関による避難所支援のほか、小学校の児童や地域住民を対象とした防災教育、北の災害食レシコンテストを実施。

(2) 後期訓練
ア 災害対策本部運営訓練
日時 平成29年10月17日(火)
場所 道庁危機管理センター
内容
災害対策本部の指揮室において、救出救助や支援物資の輸送などに関し、関係市町村や防災関係機関との連携を確認。
・支援物資の受入や輸送などの調整・確保
・救出救助部隊やヘリの運用調整
・防災共通地図の活用 など

イ 実動訓練
日時 平成29年10月20日(金)～21日(土)
場所 札幌市(真駒内駐屯地、丘珠駐屯地、農試公園、豊平川 など)、苫小牧市(苫小牧市役所、苫小牧西港 など)、恵庭市(恵庭総合体育館、黄金ふれあいセンター など)、千歳市、江別市、北広島市
内容
・物資対策訓練
苫小牧西港に到着した、国からの支援物資を苫小牧市内の集積拠点で受け入れ、札幌市内の集積拠点への輸送を実施。また、千歳市内の集積拠点で受け入れた支援物資を、市町村の要請に応じ、集積拠点や避難所への輸送を実施。
・救出救助訓練
地震により発生した土砂崩れに車両が巻き込まれるという事故を想定し、救出救助を実施するとともに、医療機関などと連携し、負傷者の搬送などを実施。また、札幌市内医療機関等において負傷者の移送拠点の運営訓練を実施。

(3) 参加者 242機関 約4,000名

北海道防災会議(札幌市と共同で実施)

平成29年12月